

2024年12月期 第2四半期決算説明



コスモ・バイオ株式会社

(証券コード：3386)

2024.8.6

www.cosmobio.com

目次

1. 会社概要

- 会社概要 p.3

2. 第2四半期業績

- 連結業績ハイライト p.7
- 連結損益計算書 p.8
- 連結営業利益の増減分析 . . . p.9
- 連結貸借対照表 p.10
- 連結キャッシュ・フロー計算書 p.11

3. 通期業績・配当予想 3ヶ年計画

- 2024
- 年度上期事業環境 p.13
- 通期業績見通し p.17
- 配当について p.18
- 3ヶ年計画 p.19
- 3ヶ年計画の進捗状況 p.20

参考情報

- 連結経営指標等推移 p.23
- 事業概要 p.24
- SDGsへの取り組み例 p.34
- 株価推移 p.35

1. 会社概要

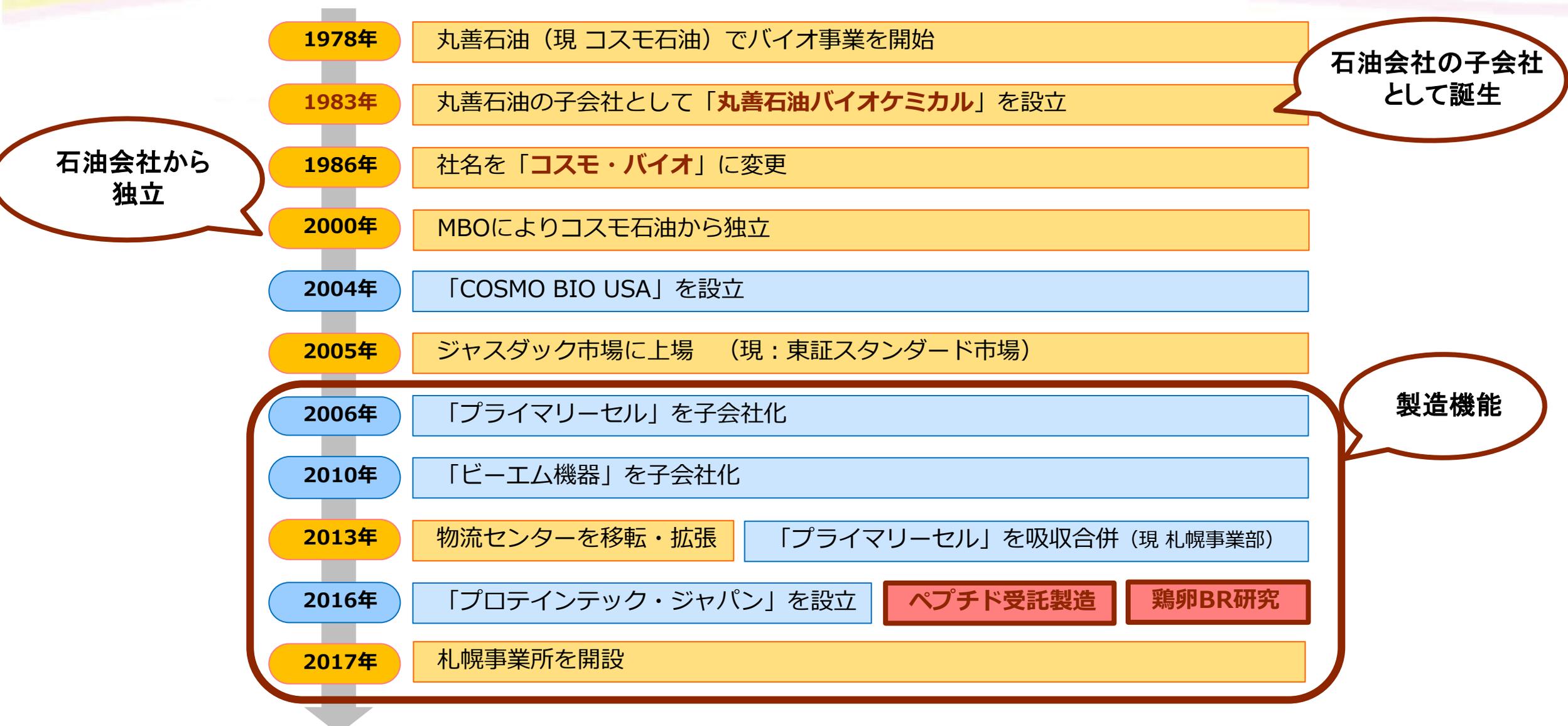
www.cosmobio.com

会社概要

社名：	コスモ・バイオ株式会社
本社所在地：	東京都江東区東陽二丁目2番20号
代表者：	代表取締役社長 柴山 法彦
設立：	1983年8月25日
資本金：	918百万円
事業内容：	ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、臨床検査薬の仕入（一部自社製造）及び国内・海外販売
従業員数：	連結：169名 個別：135名（2024年6月30日時点）
上場市場：	東証スタンダード（3386）
連結子会社：	ビーエム機器株式会社 COSMO BIO USA, INC.
非連結子会社：	株式会社プロテインテック・ジャパン



コスモ・バイオの沿革



コスモ・バイオの事業概況マトリックス

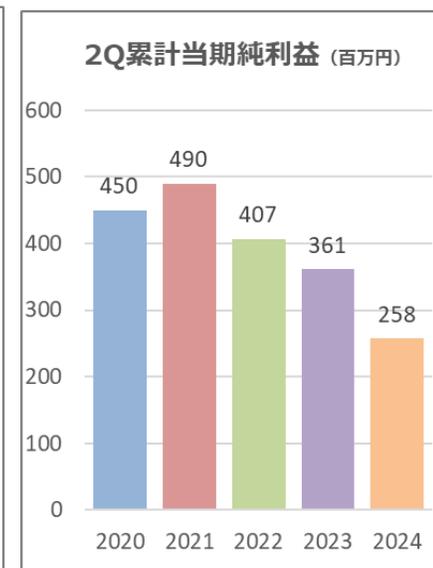
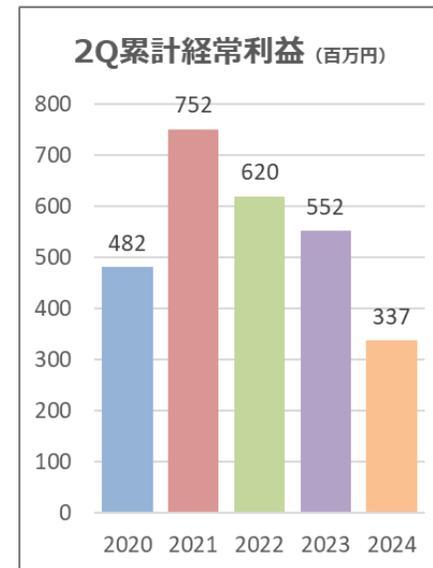
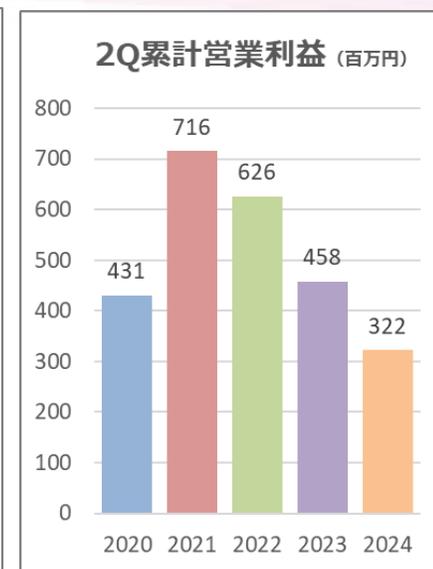
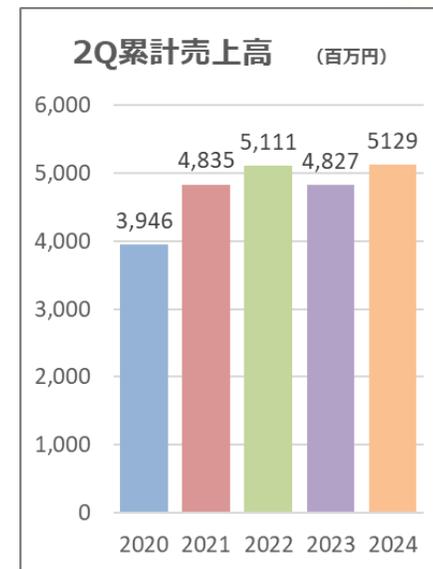
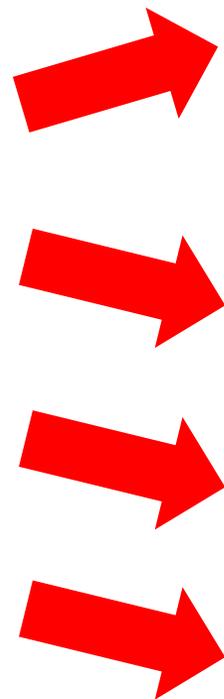


2. 第 2 四半期業績

www.cosmobio.com

連結業績ハイライト

連 結	売上高	5,129百万円	(前年同期比 6.2%増)
	営業利益	322百万円	(前年同期比 29.6%減)
	経常利益	337百万円	(前年同期比 38.9%減)
	親会社株主に帰属する 中間純利益	258百万円	(前年同期比 28.5%減)



主な要因

- ・試薬販売は好調、受託サービス、消耗品は復調
- ・為替レートは、前2Q実績が135円のところ、当2Q実績は149円となり、利益減に影響

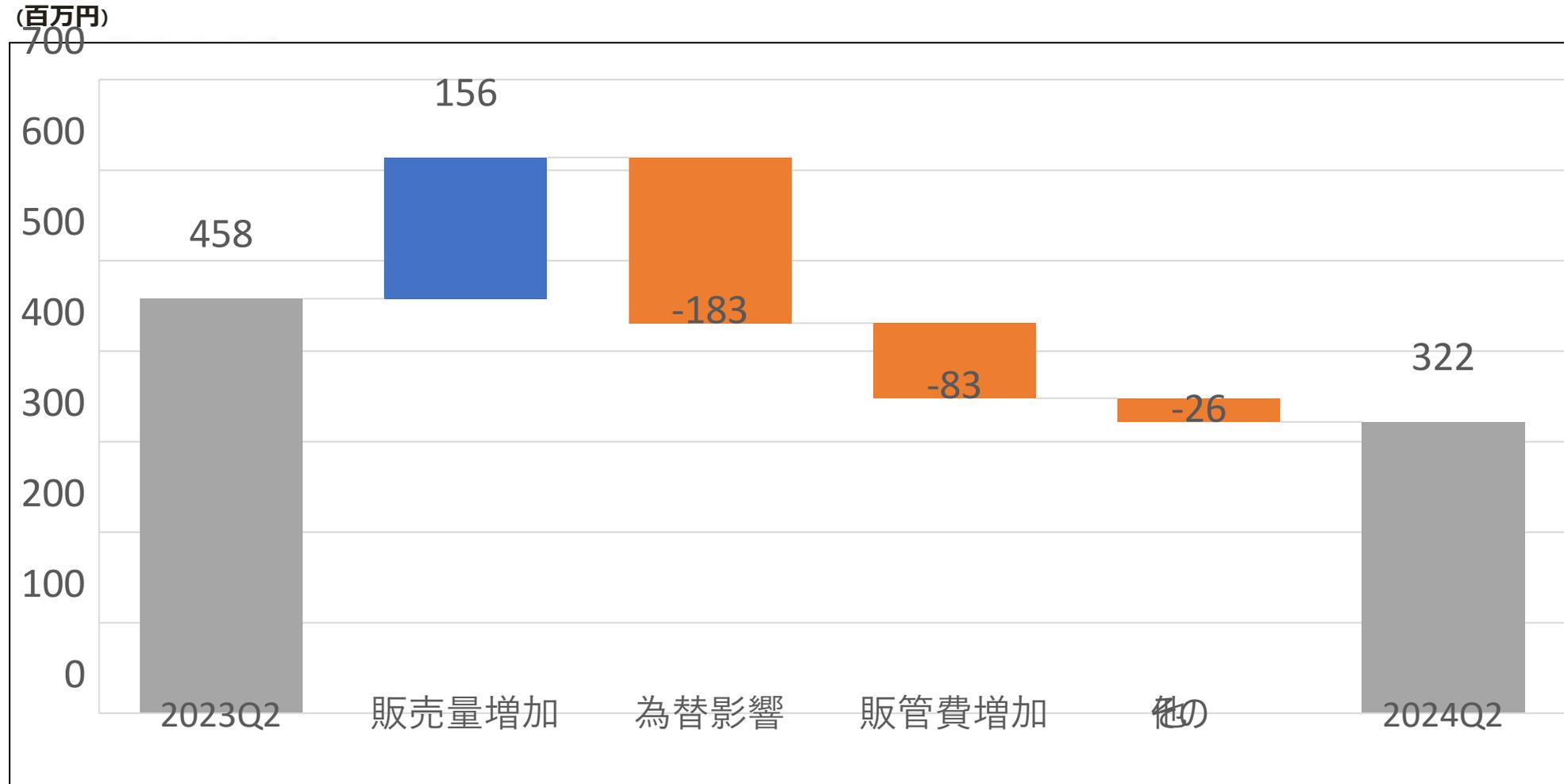
連結損益計算書

(金額単位：百万円)

	2023年 2Q累計	2024年2Q累計		予想比 増減	前年同期比 増減	
		予想	実績			
売上高	4,827	5,000	5,129	2.6%	6.2%	← 試薬販売が好調、受託サービス、消耗品等が復調
売上総利益	1,765	-	1,712	-	△3.0%	← 粗利率は36.6%から33.4%へ、14円円安による為替影響大
販管費	1,306	-	1,389	-	6.4%	← 人件費、一般管理費増
営業利益	458	260	322	24.2%	△29.6%	
経常利益	552	290	337	16.3%	△38.9%	
親会社株主に帰属する 中間純利益	361	200	258	29.2%	△28.5%	

連結営業利益の増減分析

前年同期比での連結営業利益の増減要因



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2023年12月末	2024年6月末	増減額	
資産合計	10,872	11,739	866	
流動資産計	7,102	7,179	77	現金及び預金 +198 売上債権 △160
固定資産計	3,770	4,559	789	投資その他の資産： 投資有価証券 +748
負債純資産合計	10,872	11,739	866	
負債計	1,846	1,954	107	
純資産計	9,026	9,785	759	
自己資本比率	77.7%	78.3%		

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2023年 2Q累計実績	2024年 2Q累計実績	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	848	310	△538
投資活動による キャッシュ・フロー	△33	△45	△12
財務活動による キャッシュ・フロー	△119	△96	22
現金及び現金同等物の増加額	715	198	△516
現金及び現金同等物期末残高	3,752	3,025	△727

利益減、売上計上が前年に
比べ2Qに後ずれ（ユー
ザー研究費予算の繰り越し
使用）等

3. 通期業績・配当予想 3ヶ年計画

www.cosmobio.com

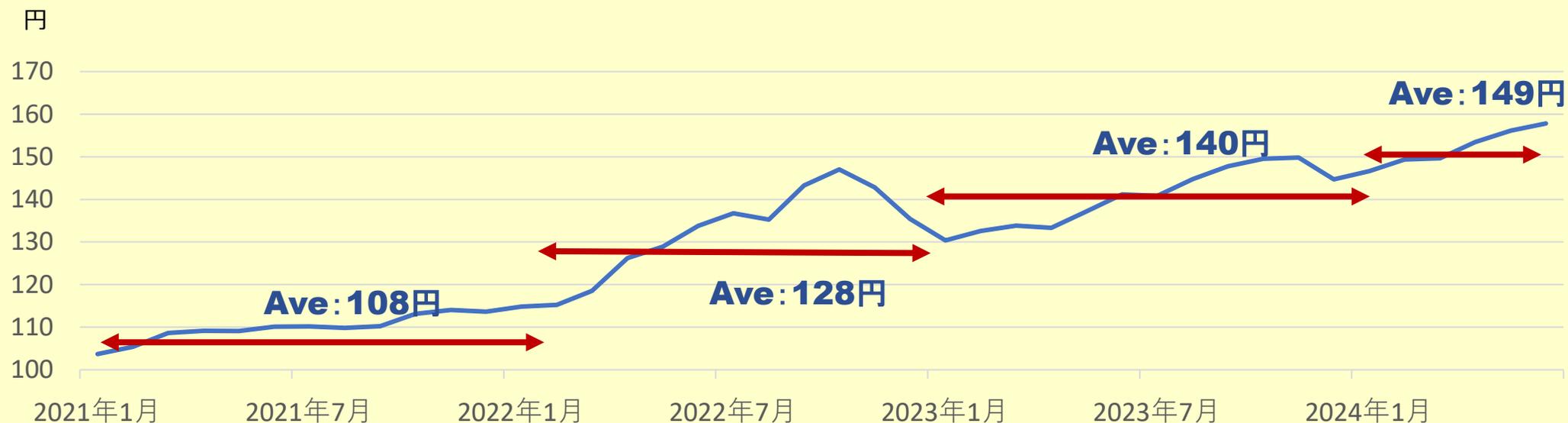
当社を取巻く環境

為替環境

 コスモ・バイオグループ

エンドユーザー
研究費動向

競合会社

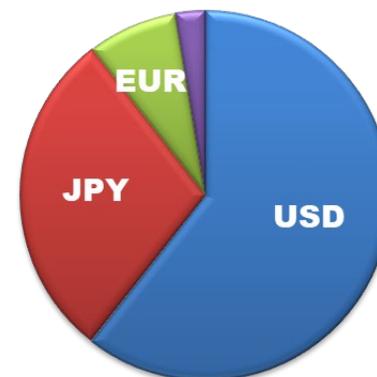


- ・ 為替変動により利益に影響
(円安では仕入原価・コスト高)
- ・ 為替予約により為替変動リスクを軽減させているものの、急激な円安傾向が継続中

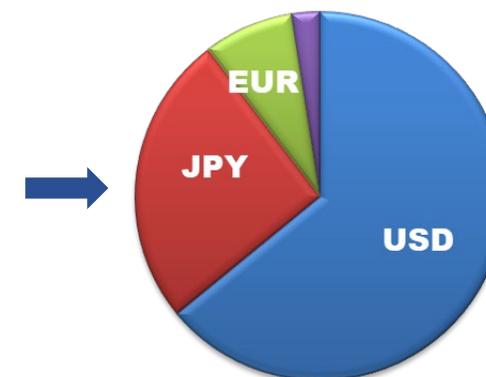
平均為替レートの推移 (円/ドル)

2021年	2022年	2023年	2024年上期
108円	128円	140円	149円

【2022年通貨別仕入】



【2023年通貨別仕入】



エンドユーザーの研究費動向

大学・公的研究機関研究費動向

政府予算の増額があるものの、2022年以降の光熱費の上昇が研究費を圧迫している傾向は継続。

予算の繰り越し使用が浸透しつつある。

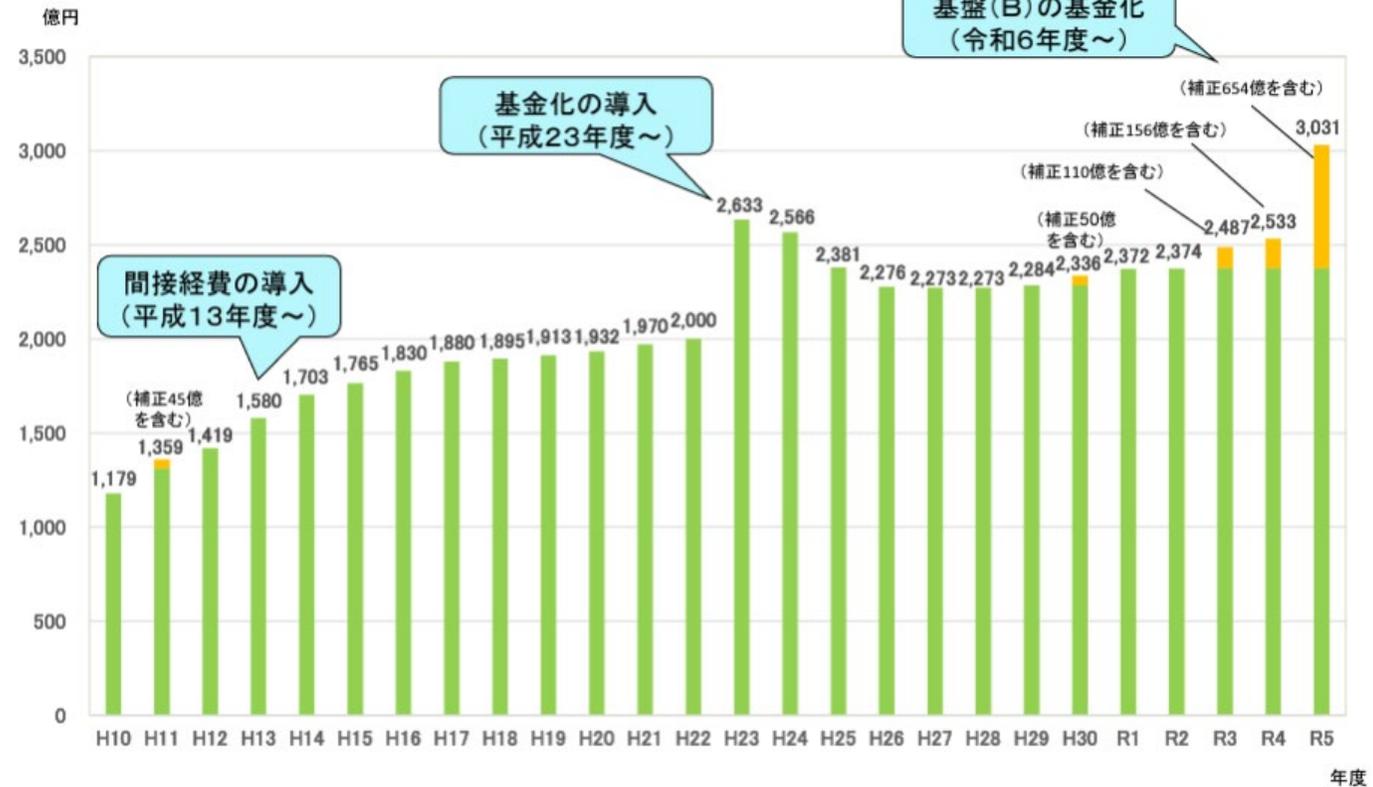
当社においては研究者への積極訪問により売り上げ拡大を目指す。

企業研究費動向

コロナ後に研究者の活動が回復し、商品・サービスの需要も回復。国内においては食品・化粧品関連企業の研究活動が活発化している。

当社においてはコロナ禍で新サービスの紹介機会が減った結果、2023年度は苦戦したが、コロナ後の活動再開により、2024年度は顧客動向は復調。

科学研究費補助金の予算額の推移



出典：文部科学省HP

競合会社の動向

競合会社

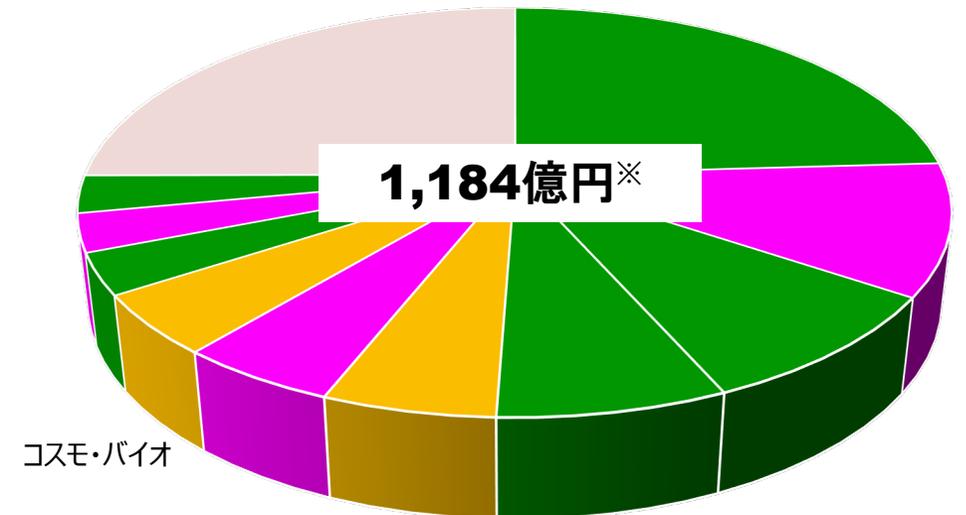
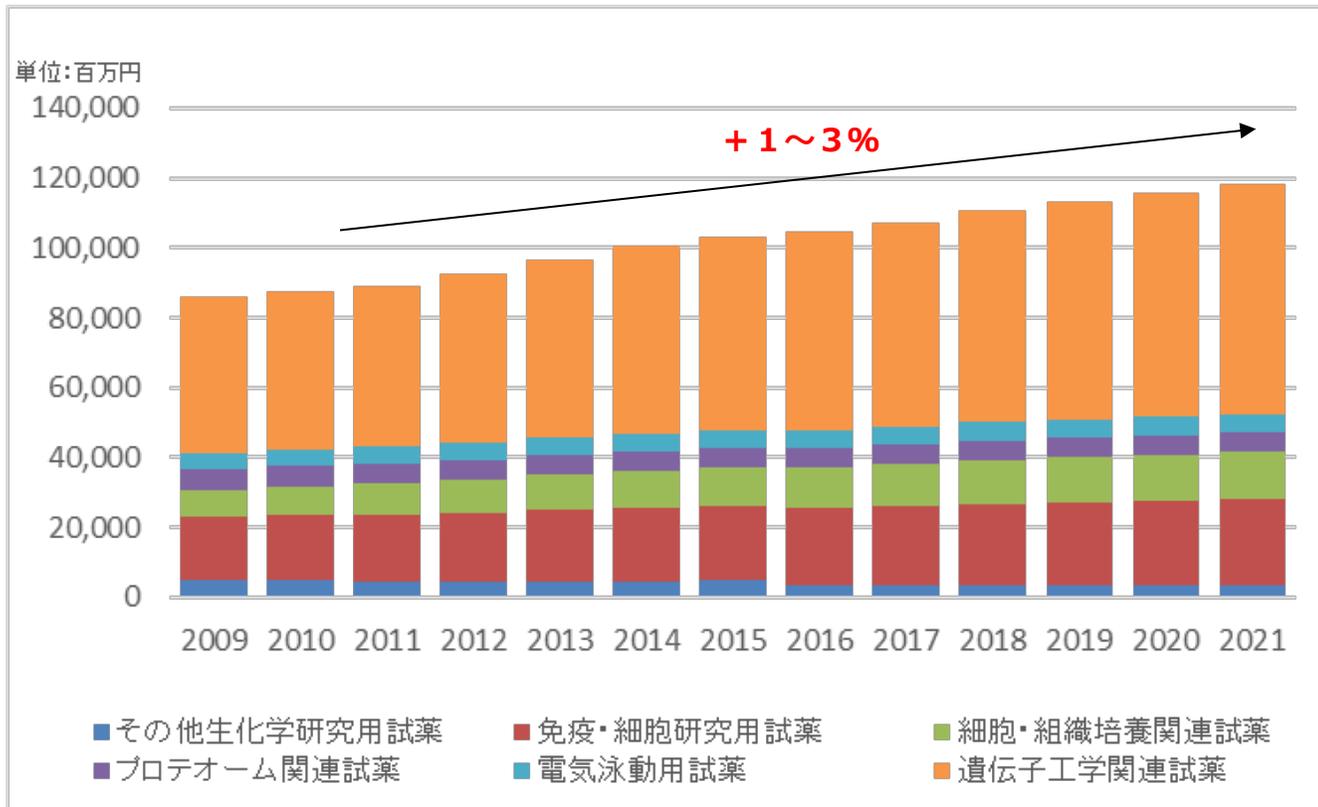
市場状況は、シェア獲得のための価格競争は継続。

⇒ 他社にない商品の導入や販売促進に注力していく

◆競合会社のパターン◆

- 1 海外企業の日本法人
- 2 日系大手メーカーの子会社・部門
- 3 商社

ライフサイエンス研究用試薬の市場規模



出典：矢野経済研究所

通期業績見通し

(単位：百万円)

	23/12月期 通期実績	24/12月期 通期予想	対前年 同期比	(参考) 24/12月期 2Q実績
売上高	9,340	9,800	4.9%	5,129
営業利益	519	390	△25.0%	322
経常利益	653	450	△31.1%	337
親会社株主に帰属する 当期純利益	442	310	△30.0%	258

平均為替レート	23/12月期 実績	24/12月期 上期実績	24/12月期 下期予想
円/USドル	140円	149円	150円

配当について

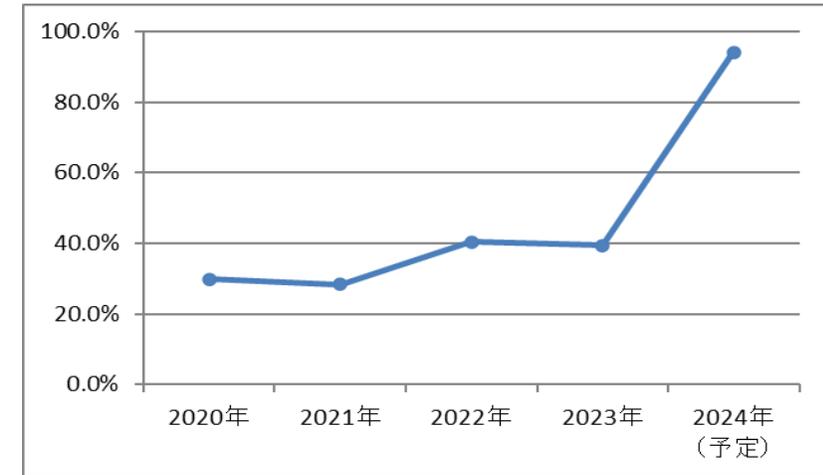
	1株当たり配当額		
	中間	期末	合計
2022年 12月期	16円	20円	36円
2023年 12月期	14円	16円	30円
2024年 12月期	14円	36円 (予定)	50円 (予定)

配当方針の見直し (2024年8月5日取締役会決議)

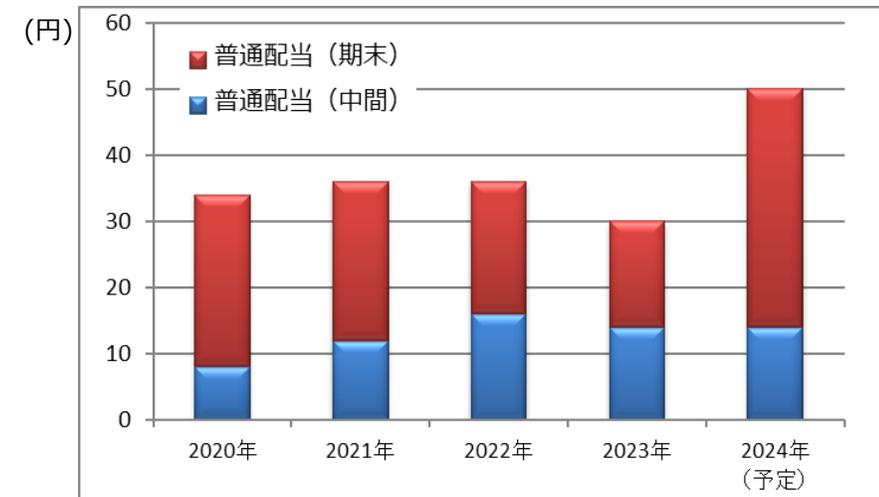
配当性向30%~40%という従来の配当方針を変更し、株主資本配当率 (DoE) 3.5%と配当性向60%のいずれか高いほうを基準とした配当を実施することとしました。

詳細は、**第二部「企業価値向上への取り組み説明」**にてご説明いたします。

連結配当性向の推移



1株当たり配当額の推移



新たな事業基盤の創出

新規事業の開拓

資本提携・業務提携への取り組み

商社機能の強化
(提案力・情報力・商品力)

製造機能の強化

顧客情報管理とその活用

新商品・受託サービスの拡充

原料供給ビジネスの売上拡大

抗体・ペプチド合成受託事業、鶏卵バイオリアクター事業の成長・収益加速

流通改革対策

輸出の強化

企業価値の向上

生産性の向上と効率化 (収益力の向上)

サステナビリティの取り組みの推進

人事制度・人材育成

3ヶ年計画 – 進捗状況の一例 –

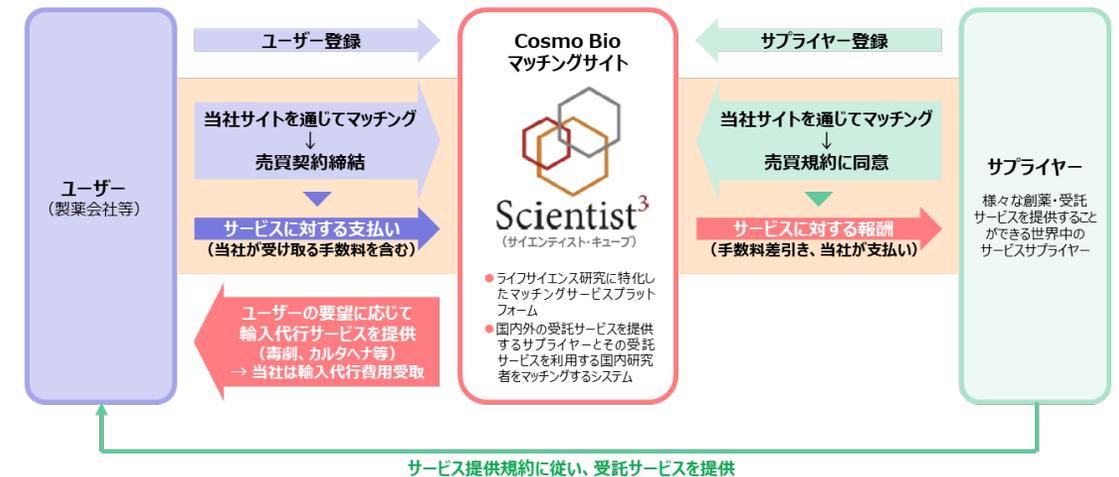
商社機能の強化 (提案力・情報力・商品力)

- エクソソーム関連ツールの充実化
 - 三洋化成工業社が開発したエクソソーム（細胞外小胞）精製キット『EXORPTION®』を販売開始（5月）



- 新規受託サービス導入
 - メディアシーク社のブレインテックトレーニングサービスを販売開始（3月）

- 受託サービスマッチングサイト『Scientist³』（サイエンティストキューブ）の立ち上げ
 - サプライヤー登録に向けた作業中





人と科学のステキな未来へ

コスモ・バイオ株式会社

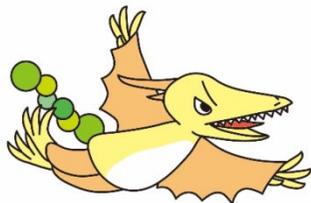
《IRに関するお問い合わせ先》

コスモ・バイオ株式会社 総務部

ir-contact@cosmobio.co.jp

《当社IRサイト》

<https://www.cosmobio.com/jp/ir/>



コスモ・バイオ オリジナルキャラクターの紹介ページ：<https://www.cosmobio.co.jp/character/>



参考情報

www.cosmobio.com

主な連結経営指標等の推移

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
売上高(百万円)	7,590	8,092	9,231	9,553	9,340
経常利益(百万円)	470	817	1,099	790	653
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	237	674	737	517	442
純資産額(百万円)	7,321	7,861	8,319	8,617	9,026
総資産額(百万円)	8,890	9,640	10,072	10,313	10,872
1株当たり純資産額(円)	1,154.32	1,241.18	1,344.48	1,385.20	1,447.08
1株当たり当期純利益(円)	40.14	113.70	126.94	89.13	75.97
自己資本利益率(%)	3.5	9.5	9.7	6.5	5.4
総資産経常利益率(%)	5.4	8.8	11.2	7.8	6.2
株価収益率(倍)*	26.1	10.8	9.2	11.3	12.9
配当金額(単体)(円)	14	34	36	36	30
配当性向(連結)(%)	34.9	29.9	28.4	40.4	39.5
純資産配当率(連結)(%)	1.2	2.8%	2.8%	2.6%	2.1%

* 株価は12月期の末日終値

事業の内容① – 商社 –

研究者と仕入先を結ぶ
コスモ・バイオ



何を誰に売っている会社ですか？

何を：

ライフサイエンス研究に使われる「**試薬**」や
「**機器・器材・消耗品**」、試験を請け負う
受託サービスなど



誰に：

教育機関（大学等）、公的研究機関、企業
など

これらの研究機関で、**ライフサイエンスの**
基礎研究を行う研究室の研究者が主な顧客

試薬って、
なに？
(次ページ)

－ 試薬とは －

実験・研究・測定のために使われる薬剤

化学物質や、生物の体内から取り出した成分
(タンパク質や細胞、核酸等)、それを反応させるための溶液など

なかでも・・・**ライフサイエンス用（生化学用）試薬**は、

- ・ 生物から抽出したもの、あるいはその物質を合成したもの。
- ・ 数10マイクログラムなど、目に見えないくらい少量で提供される。
(体内を模した実験をするにあたり、そのくらいの量で充分足りる)



《試薬の分類イメージ》



－ 機器・器材・消耗品とは－

研究用機器とは？

PCR装置をはじめとするさまざまな化学物質・生体成分等を測定する機器

器材・消耗品とは？

液体を分注するためのピペットや、液体を混合するための道具、実験で使い捨てで使用する実験用手袋、プレート、チップなど

マイクロウェルプレート



チューブ



ピペット、チップ



チューブ、保温ブロック



超音波破碎装置

ライフサイエンス研究とユーザー層

研究ステップ

各研究ステップの研究機関（ユーザー層）



ライフサイエンスの技術が実用化されるまでにはとても長い年月がかかっています。
コスモ・バイオはその研究の第一歩である、「基礎研究」を行う研究者向けに、
研究用試薬・機器を販売しています。

事業の内容② – 製造・開発 –

✓ 商社事業を軸に、2006年から**製造・開発機能**を取り入れ自社製品・サービスの開発に着手

✓ 開発・製造拠点は北海道（札幌事業所）

✓ 製造・開発事業は、大きく3つ

① 初代細胞ほか試薬製造・受託試験（2006年より）

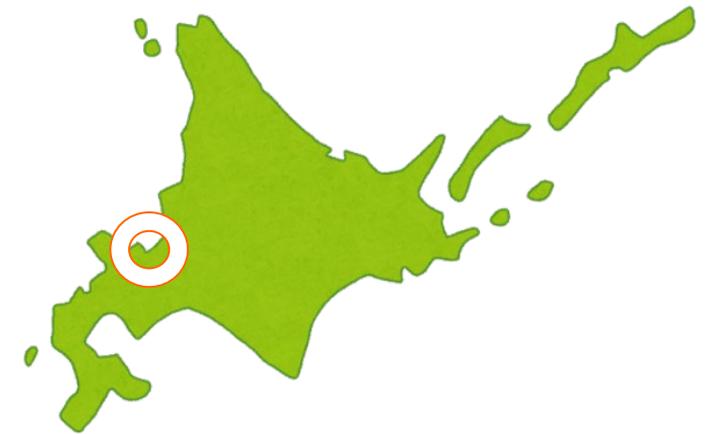
② カスタムペプチド合成と抗体作製受託

③ ゲノム編集ニワトリを用いたタンパク質製造
（鶏卵バイオリアクター事業）

新規事業
2016年より



札幌事業所の外観



初代培養細胞ほか、研究試薬

初代培養細胞とは

生体から分離した細胞を培養し、第1回目の継代を行うまでの細胞。
細胞は継代を繰り返すことでその性質が変化することがあるため、初代培養細胞（プライマリーセル）を用いることで、より実際の細胞に近い状態で実験することができる。



たとえば、薬剤の研究開発等に使われます



脂肪細胞と専用培地

《製造品目》



カスタムペプチド合成&抗体作製

何を作っているの？

- 研究者の要望にあった配列のペプチドをカスタム合成
- このペプチドを材料（抗原）とした、抗体作製の受託サービスもあわせて展開



ペプチド合成装置



【ペプチドの役割の例】



ペプチドを使った
基礎研究



薬効のある
ペプチドの探索



ペプチドを抗原とした
抗体作製

機能性ペプチド
(機能性食品、
抗菌ペプチド)

新薬
(ペプチド医薬品)

新規治療法
(ワクチン)

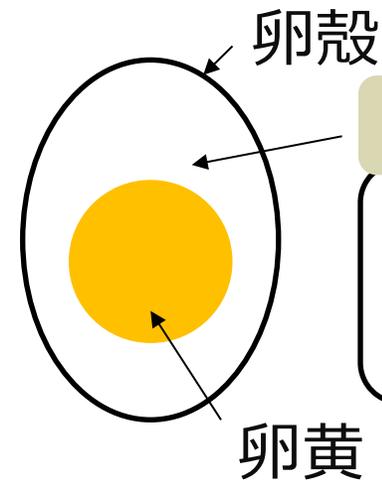
私たちの生活レベルの向上に貢献！

ゲノム編集ニワトリを用いたタンパク質製造

～目的とするタンパク質を、安く大量につくる～

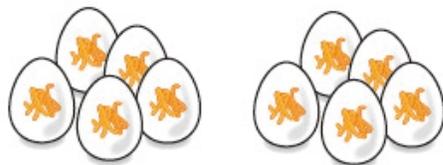
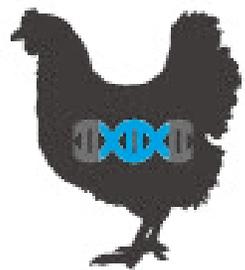
◎ 鶏卵バイオリアクターを用いたタンパク質製造

ゲノム編集によりニワトリを
改変し、たまごの卵白部分に
有用タンパク質を大量に
含んだ**たまご**を生ませる
技術



卵白

オボアルブミン 2.2g
オボトランスフェリン 0.5g
オボムコイド 0.5g
リゾチーム 0.15g



ゲノム編集して、
オボアルブミンの
代わりに
有用タンパク質を
作る

メーカー機能の向かう先

◎ご紹介した自社製品・サービスを振り返ると・・・

<p>①初代細胞ほか試薬製造・受託 試験</p>	<p>市場にない試薬・サービスを提供する ⇒ 研究用試薬、サービスの充実</p>
<p>②カスタムペプチド合成& 抗体作製</p>	<p>研究用の提供もありつつ、原料としての提供など、研究用から一歩踏み出した製造・サービス</p>
<p>③ゲノム編集ニワトリを用いた タンパク質製造 (鶏卵バイオリアクター事業)</p>	<p>研究用試薬ではなく、原料供給を主な目的とした製造</p>

研究用試薬だけでなく、原料としての製造など、ライフサイエンスをもっと広くサポートするべく、新たな技術を導入していきます。

SDGsへの取り組み例

『公開講座応援団』

大学等が行う公開講座に協賛し、ライフサイエンスの面白さと楽しさを伝えるお手伝いをしています



『世界一行きたい科学広場in宗像』

【講座の一例】



『お仕事ノート』

江東区の企業を紹介する小学校向けの副教材で当社の仕事内容を説明しています

『iGEM生物ロボットコンテストに参加する

日本チームへの支援

米国マサチューセッツ工科大学で毎年行われている「生物ロボット」コンテストに参加する日本の大学チームを、資金援助を通して応援しています

『北海道大学』

【参加されたチームの一例】

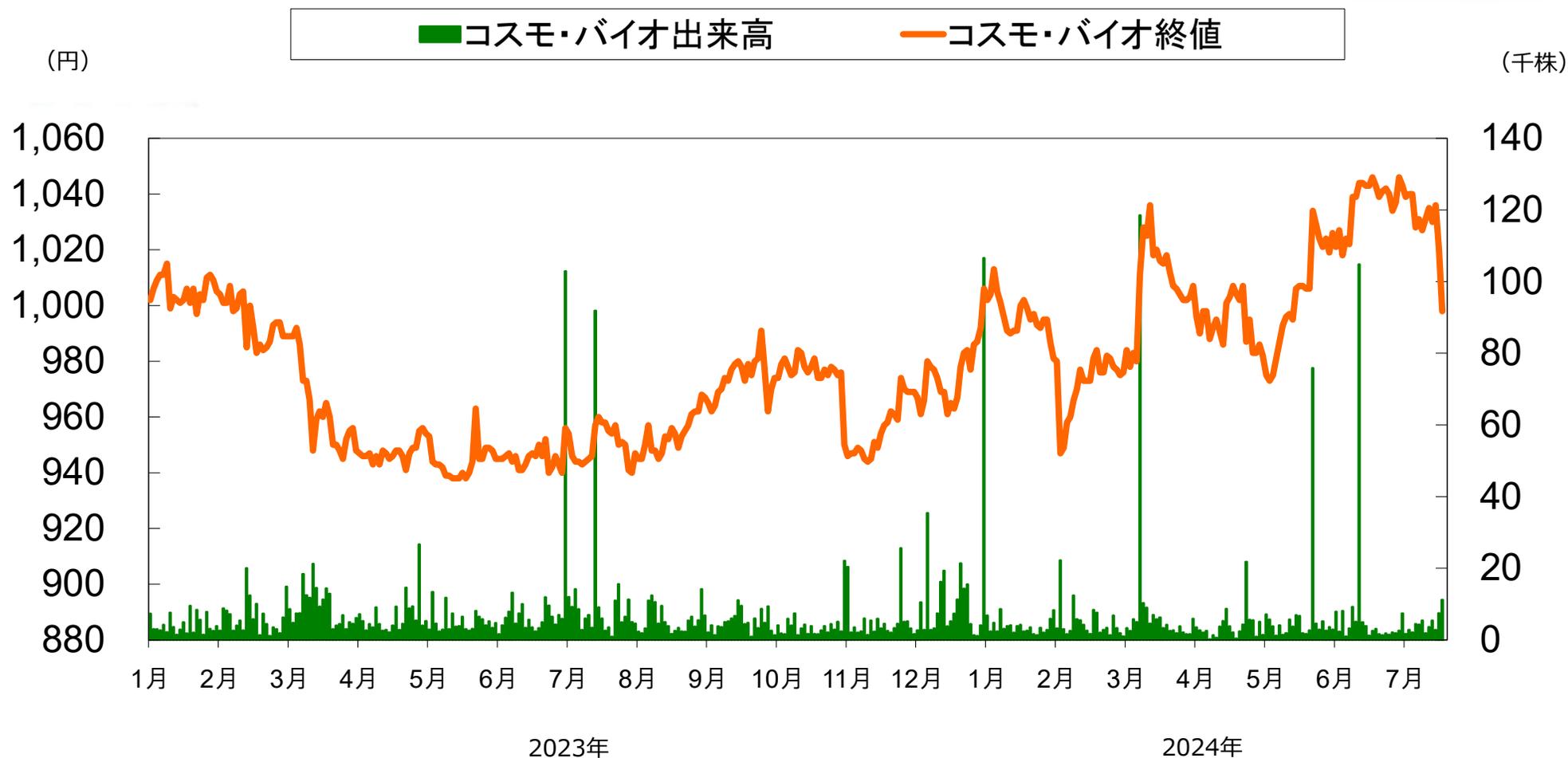


『Science Signaling』

米国科学振興協会が発行する“Science Signaling”の日本語サイトを当社ウェブ上で運営しています



株価推移 (2023/1/4~2024/8/5)



前日 (8月5日) の終値 : 888円